

京都光華女子大学心理学科×右京警察署 幼児と保護者のヘルメット着用を促す交通安全啓発動画を制作

京都光華女子大学（学長：高見 茂）心理学科では、右京警察署交通課との官学連携の取り組みとして、「幼児およびその保護者」を対象とした自転車ヘルメット着用向上に向けた交通安全啓発動画を制作しています。このたび動画が完成したことに伴い、右京警察署の方々を本学にお招きした報告会を開催します。

■自転車における幼児と保護者のヘルメット着用が課題

右京警察署では、これまで高校生・大学生を対象としたヘルメット着用啓発ポスター等を制作し、ショッピングモールや駅構内、路線バス車内などで発信してこられました。一方で、幼児と保護者のヘルメット着用については、「子どもは被っているが保護者が被らない」という課題が続いており、今回、本学の「こどもの教育」に強みをもつ学生への協力依頼を受け、本学心理学科 河喜多 寛治 准教授のゼミ 2 年生 13 名が動画制作に取り組みました。

■心理学を生かした“実践型”動画制作

学生たちは、幼児と保護者という異なる受け手に確実に届くことを最優先に、2 本の短尺動画を企画立案から構成、撮影、編集まで一貫して主体的に制作しました。

動画 1（幼児向け）では、人形を用いたやわらかく親しみやすい世界観と、ヘルメット有無による怪我の違いを視覚的に示す構成とし、551 蓬莱の CM フレーズ（使用許可取得済）を用いて印象に残る情緒的訴求を行っています。動画 2（保護者向け）では、自転車事故の数値データを示しつつ、蒸れ・重さといった心理的ハードルへの具体的な解決策を提示し、合理的判断を促します。

全体として、情緒的訴求と合理的訴求の使い分け、恐怖訴求と自己効力感のバランス、SNS 視聴を意識した 1～3 分程度の尺・編集など、心理学の知見を取り入れた行動変容デザインを実践的に学ぶ機会となりました。完成した動画は、今後、右京警察署や右京幼児交通事故防止対策連絡会（区内の幼稚園・保育園 48 園加盟）を通じて、園や地域での交通安全啓発に活用される予定です。



子ども向けの動画

■報告会 実施概要

日 時：2026 年 2 月 4 日（火）13:10～13:40

場 所：京都光華女子大学 慈光館 6 階 太子堂

〒611-0882 京都市右京区西京極葛野町 38

内 容：・右京警察署交通課より依頼経緯、地域の交通安全課題について説明

・学生制作による啓発動画の上映

・右京警察署職員と学生との意見交換・講評

出席者：右京警察署交通課職員、京都光華女子大学 心理学科 河喜多ゼミ 2 年生（13 名）

報道各社におかれましては、本取組についてご取材いただきますようお願い申し上げます。

「取材に関するお問い合わせ」

京都光華女子大学／短期大学部 入学・広報センター 担当：川島

[TEL] 075-312-1899 [FAX] 075-312-5594 [E-mail] hkk@mail.koka.ac.jp [URL] <https://www.koka.ac.jp/>

2026 年 4 月共学化！
「京都光華女子大学」から
「京都光華大学※」へ
※名称変更

STAY BONBU, CO-CREATE WELL-BEING.

世代を超え、願いをつなぎ続ける学園を目指して

Well-Being な社会を実現するためには多様な人々が手を取り合い共創することが必要です。
その共創のスキルを学生が育めるよう、本学園はジェンダーの壁を取り払い、男女共学化。
おもいやりの心で互いを尊重し、あらゆる人と共創できるキャンパスに進化します。